



なかしん

中小企業景況レポート

No.20 中栄信用金庫 地域支援部

平成28年7月～9月実績と平成28年10月～12月見込み

◆調査概要

調査時期 平成28年9月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 347社
回答企業数 330社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	96	91	94.7
卸売業	26	26	100.0
小売・飲食業	63	62	98.4
サービス業	56	52	92.8
建設業	66	62	93.9
不動産業	40	37	92.5
合 計	347	330	95.1

◆7月～9月期の概況

～資金繰り改善には至らず、景況感は3期連続の悪化～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断D.I.は▲17.7を示し、前回調査(平成28年4月～6月期)に比べ5.6ポイントの悪化となりました。長引く消費マインドの低迷や海外経済の減速、円高基調など様々な外的要因による先行きへの不透明感が強まる中、一部においては、受注や顧客増加の動きがみられたことから、建設業以外の5業種で、売上額D.I.が僅かながらに改善したものの、人手不足や天候不順等の影響による建設関連の工期遅れや人件費の増加が足かせとなり、資金繰りの改善には至らず、景況感は3期連続の悪化となりました。また、売上額D.I.の改善については、前回調査と比較して「減少」から「不変」への変化が要因として挙げられ、実体はほぼ横這いであり、引き続き厳しい経営環境が窺えることから、景況感の改善には至らなかったものと思われます。

一部企業においては、工場や事務所の移転を計画する企業や合理化の不足を経営課題とし、不採算部門からの撤退を検討する企業も見受けられます。

項目別にみると、売上実績D.I.は1.6ポイント小幅改善の▲8.2、収益実績D.I.はほぼ横這いの▲12.1となっております。また、仕入価格D.I.は上昇感が弱まり1.8ポイント下降の11.0、人手過不足についてはほぼ横這いの▲23.1、資金繰りD.I.は6.3ポイント悪化の▲17.0となっております。

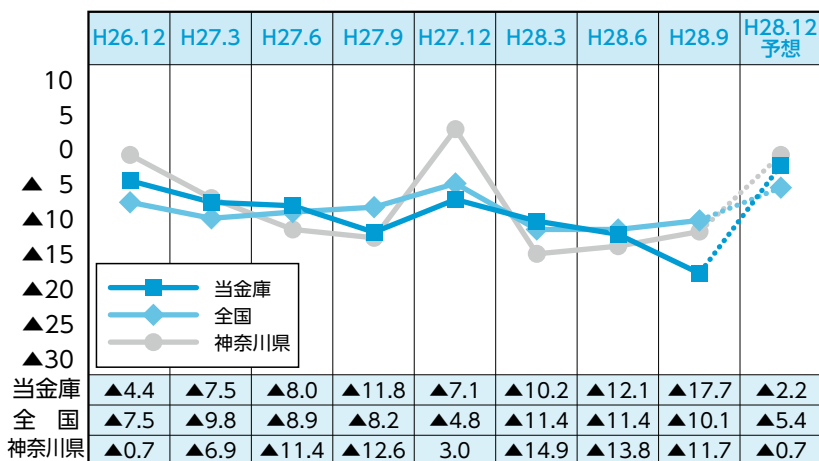
また、業種別の景況感は、不動産業が17.1ポイント改善の▲5.4、製造業が4.1ポイント悪化の▲16.7、サービス業が4.8ポイント悪化の▲17.3、小売・飲食業が5.1ポイント悪化の▲32.3、卸売業が15.8ポイント悪化の▲20.0、建設業が19.2ポイント悪化の▲11.5となっております。(業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。)

なお、全国の中小企業業況判断D.I.は、1.3ポイント小幅改善の▲10.1、神奈川県内は、2.1ポイント改善の▲11.7となっております。(全国と神奈川県のD.I.値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。)

◆10月～12月期の見通し

来期の業況判断予想は、15.5ポイント改善の▲2.2、売上額D.I.は17.9ポイント改善の9.7、収益D.I.は18.2ポイント改善の6.1の予想となり、一部では、10月からの最低賃金引き上げが懸念される中、年末需要や季節需要への期待から不動産業以外の5業種において改善が見込まれます。

業況判断D.I.値(全業種)



全国、神奈川県の業況判断D.I.値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000(うち神奈川県約480)の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I.値とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い 悪い

製造業

概況

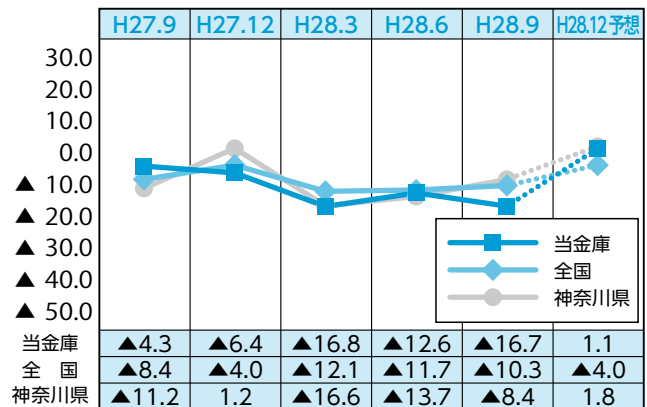
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.1 ポイント悪化の▲16.7となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 4.2 ポイント改善の▲1.1、収益 D.I. は 1.7 ポイント小幅改善の▲7.8となっております。

主取引先からの受注増加や試作品の開発による受注獲得の動きもあり、売上額 D.I. は改善に至ったものの、人手不足に伴う人件費の増加を経営上の問題点として挙げる企業が増加したことに加え、販売納入先からの値下げ要請により、資金繰りが悪化したことから、業況判断 D.I. の悪化につながったものと思われます。また、約 1 割の企業が、合理化の不足を経営課題としており、機械設備の導入による作業効率の改善に向けた取組みや不採算部門の整理・縮小を検討する動きも見受けられます。

なお、全国は 1.4 ポイント小幅改善の▲10.3 となっており、神奈川県は 5.3 ポイント改善の▲8.4 となっております。

来期の予想業況判断については、17.8 ポイント改善の 1.1 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	23.1	48.5	28.4	D.I. ▲5.3
当期実績	30.0	38.9	31.1	▲1.1
来期予想	34.4	50.1	15.5	18.9
前年同期比	26.6	35.7	37.7	▲11.1

販売価格

前期実績	8.4	87.4	4.2	D.I. 4.2
当期実績	4.4	91.2	4.4	0.0
来期予想	4.4	91.2	4.4	0.0

在庫

前期実績	4.2	95.8		D.I. 4.2
当期実績	10.0	85.6	4.4	5.6
来期予想	7.7	87.9	4.4	3.3

人手

前期実績	14.7	65.3	20.0	D.I. ▲5.3
当期実績	10.0	66.7	23.3	▲13.3
来期予想	12.2	61.2	26.6	▲14.4

収益

前期実績	18.9	52.7	28.4	D.I. ▲9.5
当期実績	22.2	47.8	30.0	▲7.8
来期予想	31.1	54.5	14.4	16.7
前年同期比	20.0	41.2	38.8	▲18.8

原材料価格

前期実績	12.6	82.2	5.2	D.I. 7.4
当期実績	7.7	91.2	1.1	6.6
来期予想	5.5	91.2	3.3	2.2

資金繰り

前期実績	7.3	73.8	18.9	D.I. ▲11.6
当期実績	13.3	60.1	26.6	▲13.3
来期予想	14.4	59.0	26.6	▲12.2

設備状況

前期実績	7.3	74.9	17.8	D.I. ▲10.5
当期実績	8.9	72.0	19.1	▲10.2
来期予想	9.1	72.6	18.3	▲9.2

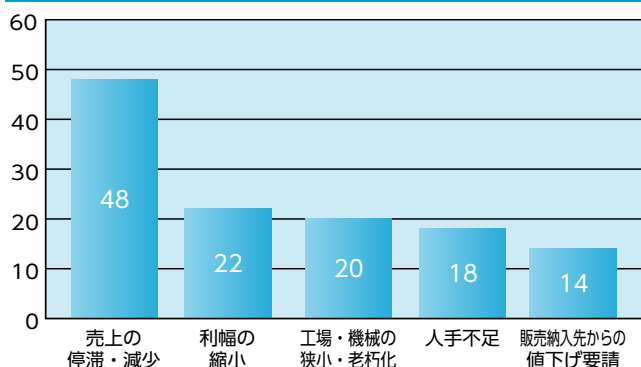
当期実績…28年 7～ 9月期
来期予想…28年10～12月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

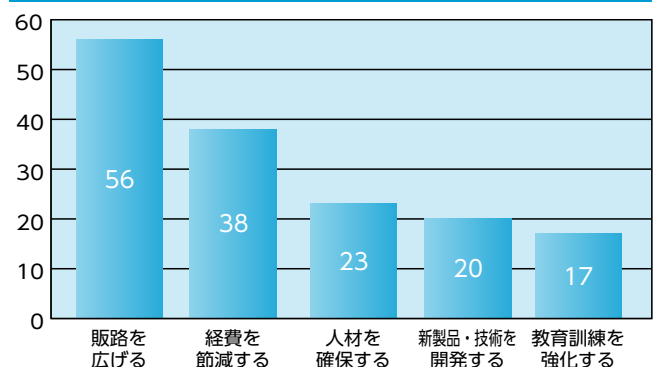
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

概況

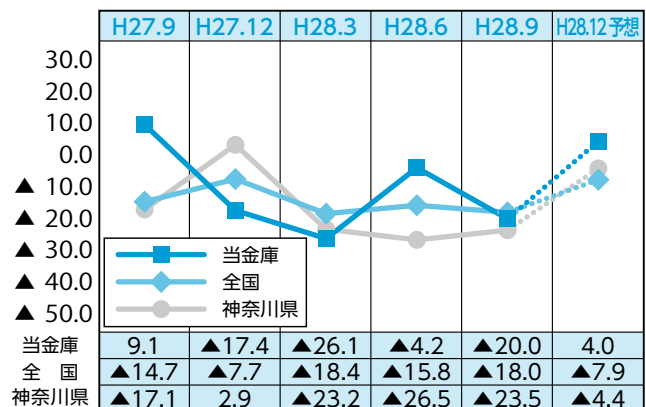
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 15.8 ポイント悪化の▲20.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 5.0 ポイント改善の▲20.0、収益 D.I. は 3.0 ポイント悪化の▲16.0、資金繰り D.I. は 2.9 ポイント悪化の▲11.6 となっております。

景況感が厳しい状況となる建設業への建材卸を中心に、業況悪化を招いていることに加え、約 4 割の企業が前年同期と比べ売上が減少したと回答し、販路の拡大を当面の重点経営施策とする企業が多く見受けられることから、依然として、景気上向きへの実感に乏しく、一部企業においては、採算性を踏まえた取引先の見直しが課題となっております。

なお、全国は 2.2 ポイント悪化の▲18.0 となっており、神奈川県は 3.0 ポイント改善の▲23.5 となっております。

来期の予想業況判断については、24.0 ポイント改善の 4.0 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	12.5	50.0	37.5	D.I. ▲25.0
当期実績	16.0	48.0	36.0	▲20.0
来期予想	30.7	50.1	19.2	11.5
前年同期比	20.0	36.0	44.0	▲24.0

販売価格

前期実績	8.6	78.4	13.0	D.I. ▲4.4
当期実績	8.0	80.0	12.0	▲4.0
来期予想	15.3	77.1	7.6	7.7

在庫

前期実績	8.6	91.4		D.I. 8.6
当期実績	16.0	72.0	12.0	4.0
来期予想	20.0	72.0	8.0	12.0

人手

前期実績	4.1	75.1	20.8	D.I. ▲16.7
当期実績	7.6	65.5	26.9	▲19.3
来期予想	7.6	61.7	30.7	▲23.1

収益

前期実績	13.0	61.0	26.0	D.I. ▲13.0
当期実績	20.0	44.0	36.0	▲16.0
来期予想	26.9	50.1	23.0	3.9
前年同期比	24.0	40.0	36.0	▲12.0

仕入価格

前期実績	18.1	77.4	4.5	D.I. 13.6
当期実績	7.6	80.9	11.5	▲3.9
来期予想	23.0	73.2	3.8	19.2

資金繰り

前期実績	13.0	65.3	21.7	D.I. ▲8.7
当期実績	7.6	73.2	19.2	▲11.6
来期予想	7.6	65.5	26.9	▲19.3

設備状況

前期実績	79.2	20.8	D.I. ▲20.8
当期実績	80.8	19.2	▲19.2
来期予想	84.7	15.3	▲15.3

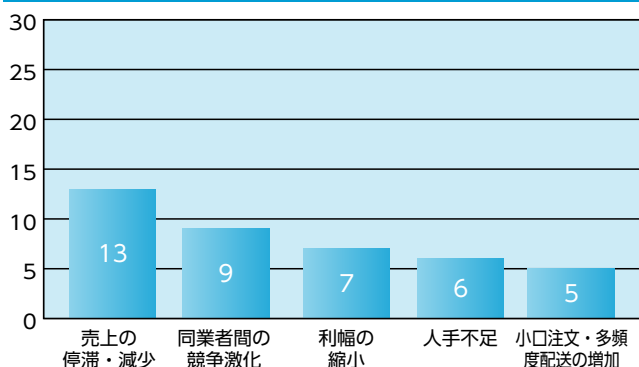
当期実績…28年 7～ 9月期
来期予想…28年10～12月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

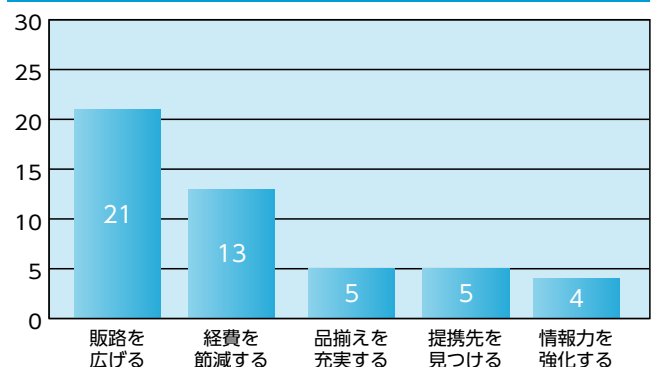
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 5.1 ポイント悪化の▲32.3 となりました。

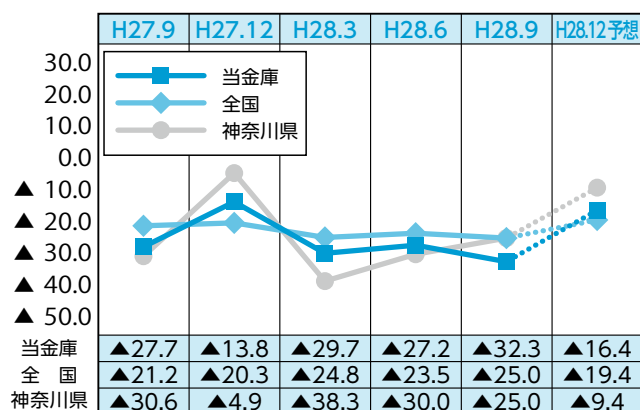
項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 2.1 ポイント改善の▲14.5、収益 D.I. は 5.8 ポイント悪化の▲21.0、資金繰り D.I. は 15.2 ポイント悪化の▲25.8 となっております。

一部の小売業においては、個人消費に持ち直しの動きがみられたものの、飲食業において天候不順や台風の影響により、生鮮品の仕入価格が上昇したこと、利益の押し下げ圧力が強まり、業況判断 D.I. は、6 業種の中で最も厳しい値で推移しております。また、一部企業においては、地域イベントへの参加により宣伝強化を図る動きも見られます。

なお、全国は 1.5 ポイント悪化の▲25.0、神奈川県は 5.0 ポイント改善の▲25.0 となっております。

来期の予想業況判断については、15.9 ポイント改善の▲16.4 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	22.7	38.0	39.3	D.I. ▲16.6
当期実績	20.9	43.7	35.4	▲14.5
来期予想	32.2	45.3	22.5	9.7
前年同期比	20.9	37.2	41.9	▲21.0

販売価格

前期実績	6.0	81.9	12.1	D.I. ▲6.1
当期実績	9.6	80.8	9.6	0.0
来期予想	11.2	82.4	6.4	4.8

在庫

前期実績	25.7	68.3	6.0	D.I. 19.7
当期実績	17.7	75.9	6.4	11.3
来期予想	17.7	79.1	3.2	14.5

人手

前期実績	3.0	50.1	46.9	D.I. ▲43.9
当期実績	4.8	64.6	30.6	▲25.8
来期予想	6.5	59.1	34.4	▲27.9

収益

前期実績	16.6	51.6	31.8	D.I. ▲15.2
当期実績	17.7	43.6	38.7	▲21.0
来期予想	25.8	51.7	22.5	3.3
前年同期比	20.9	40.4	38.7	▲17.8

仕入価格

前期実績	24.2	68.3	7.5	D.I. 16.7
当期実績	25.8	69.4	4.8	21.0
来期予想	27.4	72.6		27.4

資金繰り

前期実績	16.6	56.2	27.2	D.I. ▲10.6
当期実績	4.8	64.6	30.6	▲25.8
来期予想	3.2	71.0	25.8	▲22.6

設備状況

前期実績	1.5	81.9	16.6	D.I. ▲15.1
当期実績	6.4	82.4	11.2	▲4.8
来期予想	4.8	82.3	12.9	▲8.1

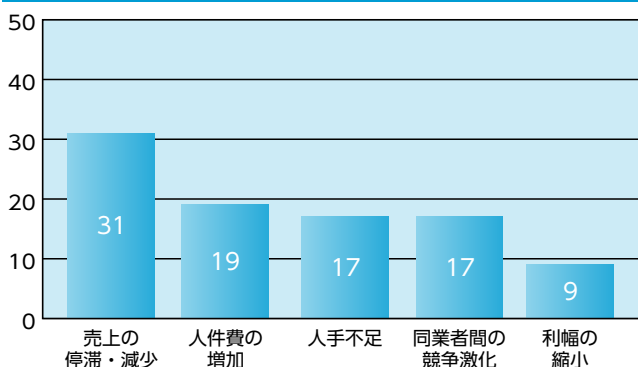
当期実績…28年 7～ 9月期
来期予想…28年10～12月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

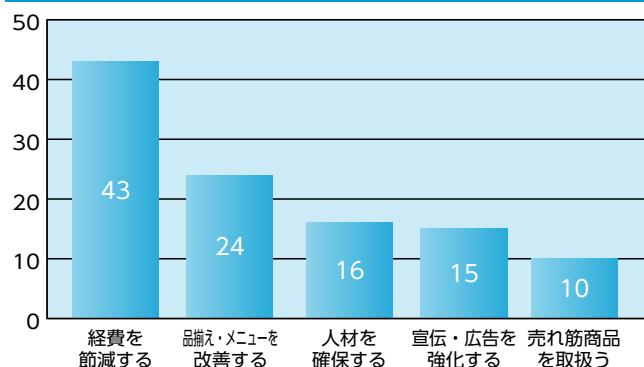
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

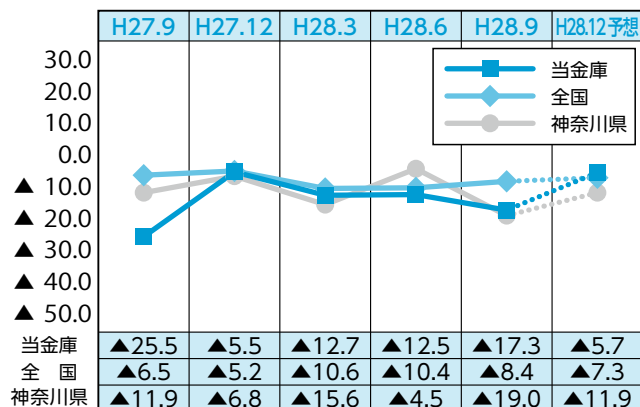
サービス業の業況判断D.I.は前回調査から4.8ポイント悪化の▲17.3となりました。項目別では、売上額D.I.は前回調査比3.1ポイント改善の▲7.7、収益D.I.はほぼ横這いの▲13.4、資金繰りD.I.は5.6ポイント悪化の▲28.8となっております。

介護事業や美容・美容業を中心に売上額D.I.がやや改善となる中、下記の通り、経営上の問題点として、売上の停滞・縮小を上回る程、人手不足を経営課題とする企業が増加していることから、人材の確保と共にサービスの質の確保も重要となっております。

なお、全国は2.0ポイント改善の▲8.4となっており、神奈川県は14.5ポイント悪化の▲19.0となっております。

来期の予想業況判断については、年末需要や季節需要への期待から、11.6ポイント改善の▲5.7となるものの、10月からの最低賃金の引き上げに伴い、更なる人件費の負担増加が懸念されます。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	26.7	35.8	37.5	D.I. ▲10.8
当期実績	23.0	46.3	30.7	▲7.7
来期予想	25.0	48.1	26.9	▲1.9
前年同期比	28.8	42.4	28.8	0.0

料金価格

前期実績	-1.7	89.4	8.9	D.I. ▲7.2
当期実績	-5.7	86.7	7.6	▲1.9
来期予想	-7.6	84.8	7.6	0.0

資金繰り

前期実績	-10.7	55.4	33.9	D.I. ▲23.2
当期実績	-9.6	52.0	38.4	▲28.8
来期予想	17.3	50.1	32.6	▲15.3

設備状況

前期実績	-1.7	73.3	25.0	D.I. ▲23.3
当期実績	-1.9	77.0	21.1	▲19.2
来期予想	-1.9	78.5	19.6	▲17.7

収益

前期実績	21.4	44.7	33.9	D.I. ▲12.5
当期実績	19.2	48.2	32.6	▲13.4
来期予想	21.1	50.1	28.8	▲7.7
前年同期比	26.9	44.3	28.8	▲1.9

材料価格

前期実績	19.6	78.7	1.7	D.I. 17.9
当期実績	15.3	79.0	5.7	9.6
来期予想	23.0	73.2	3.8	19.2

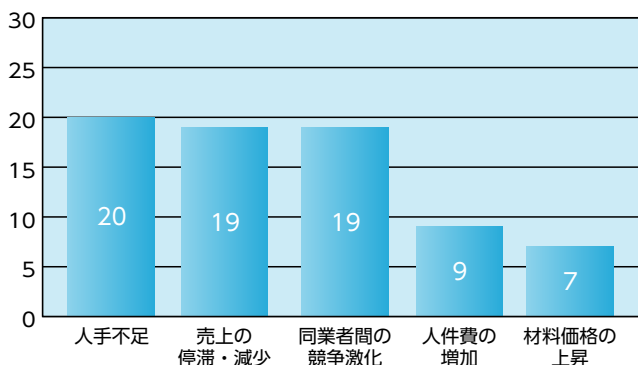
人手

前期実績	59.0		41.0	D.I. ▲41.0
当期実績	3.8	55.9	40.3	▲36.5
来期予想	5.7	52.0	42.3	▲36.6

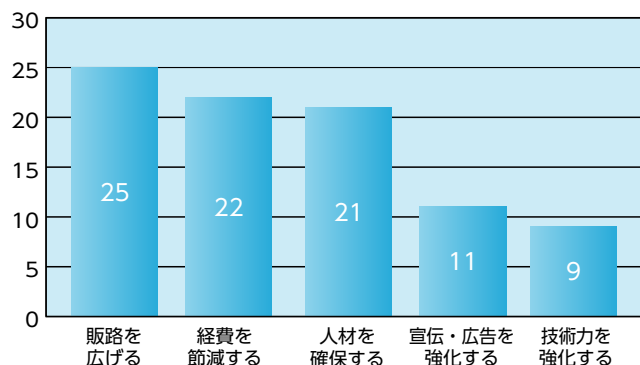
当期実績…28年 7～ 9月期
来期予想…28年10～12月期

良い、増加、上昇
 普通、変わらず
 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

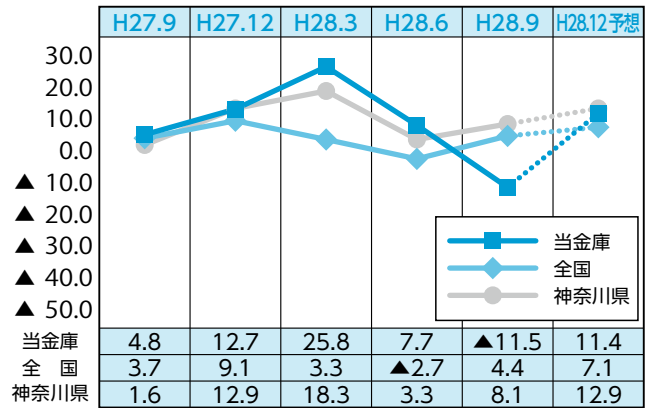
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 19.2 ポイント悪化の▲11.5 となり、5 期ぶりにマイナス域となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 10.1 ポイント悪化の▲17.7、収益 D.I. は 8.7 ポイント改善の▲12.9 となっております。

一部企業においては、大型の民間工事受注を確保する動きがあるものの、一般住宅建設業においては、消費税増税の延期による駆け込み需要の後退を懸念する企業も見受けられることに加え、人手不足や天候不順等に伴う工期遅れにより、資金繰り D.I. は 14.7 ポイント悪化の▲17.8 となったことから、業況判断 D.I. が大幅に悪化したものと思われます。

なお、全国は 7.1 ポイント改善の 4.4 となっており、神奈川県は 4.8 ポイント改善の 8.1 となっております。

来期の予想業況判断については、22.9 ポイント改善の 11.4 となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	20.0	52.4	27.6	D.I. ▲7.6
当期実績	14.5	53.3	32.2	▲17.7
来期予想	33.8	43.7	22.5	11.3
前年同期比	17.7	43.6	38.7	▲21.0

請負価格

前期実績	7.6	83.2	9.2	D.I. ▲1.6
当期実績	8.0	74.3	17.7	▲9.7
来期予想	19.3	66.2	14.5	4.8

在庫

前期実績	1.5	97.0	1.5	D.I. 0.0
当期実績	6.4	93.6		6.4
来期予想	9.6	88.8	1.6	8.0

人手

前期実績	6.1	63.2	30.7	D.I. ▲24.6
当期実績	3.2	59.8	37.0	▲33.8
来期予想	1.6	51.7	46.7	▲45.1

収益

前期実績	10.7	57.0	32.3	D.I. ▲21.6
当期実績	16.1	54.9	29.0	▲12.9
来期予想	24.1	59.8	16.1	8.0
前年同期比	19.3	43.7	37.0	▲17.7

材料価格

前期実績	27.6	70.9	1.5	D.I. 26.1
当期実績	25.8	72.6	1.6	24.2
来期予想	29.0	67.8	3.2	25.8

資金繰り

前期実績	13.8	69.3	16.9	D.I. ▲3.1
当期実績	8.0	66.2	25.8	▲17.8
来期予想	9.6	75.9	14.5	▲4.9

設備状況

前期実績	1.5	95.4	3.1	D.I. ▲1.6
当期実績	4.8	88.8	6.4	▲1.6
来期予想	4.9	88.6	6.5	▲1.6

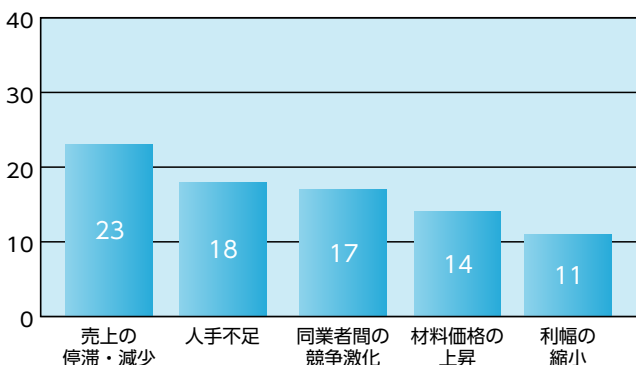
当期実績…28年 7～ 9月期
来期予想…28年10～12月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

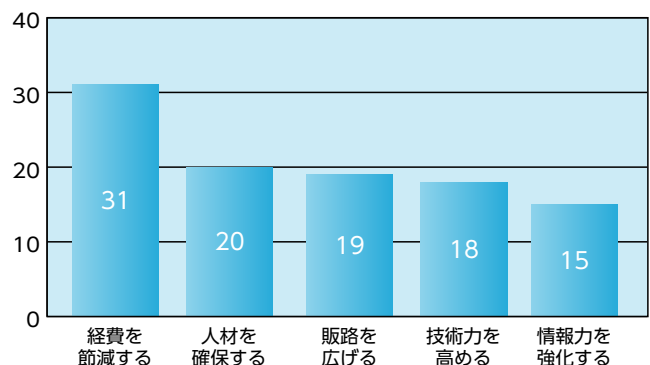
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

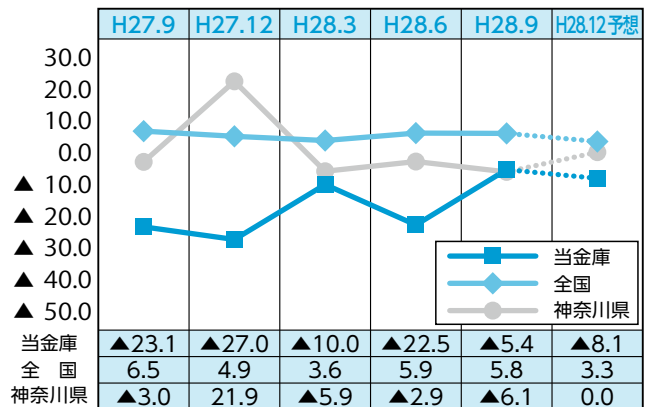
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 17.1 ポイント改善の▲5.4 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 10.6 ポイント改善の 8.1、収益 D.I. はほぼ横這いの▲2.7、資金繰り D.I. は 7.7 ポイント改善の 2.7 となっております。

3 年ぶりに、売上額 D.I. がプラス域となり、業況判断 D.I. の改善に至ったものの、今回調査における売上額 D.I. の改善については、下記の通り、前回調査と比較して「減少」から「不変」への変化が要因として挙げられることから、依然として厳しい業況が窺え、商品の在庫不足が続く中、収益を勘案し、購入に慎重となる企業も多く見受けられます。

なお、全国はほぼ横這いの 5.8 となっており、神奈川県は 3.2 ポイント悪化の▲6.1 となっております。

来期の予想業況判断については、2.7 ポイント悪化の▲8.1 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	27.5	42.5	30.0	D.I. ▲2.5
当期実績	24.3	59.5	16.2	8.1
来期予想	21.6	56.8	21.6	0.0
前年同期比	29.7	54.1	16.2	13.5

販売価格

前期実績	2.5	67.5	30.0	D.I. ▲27.5
当期実績	5.4	67.6	27.0	▲21.6
来期予想	5.4	67.6	27.0	▲21.6

在庫

前期実績	10.0	57.5	32.5	D.I. ▲22.5
当期実績	8.1	62.2	29.7	▲21.6
来期予想	5.4	64.9	29.7	▲24.3

人手

前期実績	85.0 15.0			D.I. ▲15.0
当期実績	5.4	81.1 13.5		▲8.1
来期予想	2.7	86.5 10.8		▲8.1

収益

前期実績	22.5	52.5	25.0	D.I. ▲2.5
当期実績	16.2	64.9	18.9	▲2.7
来期予想	21.6	59.5	18.9	2.7
前年同期比	27.0	54.1	18.9	8.1

仕入価格

前期実績	5.0	80.0	15.0	D.I. ▲10.0
当期実績	8.1	78.4	13.5	▲5.4
来期予想	5.4	86.5	8.1	▲2.7

資金繰り

前期実績	7.5	80.0	12.5	D.I. ▲5.0
当期実績	10.8	81.1	8.1	2.7
来期予想	5.4	83.8	10.8	▲5.4

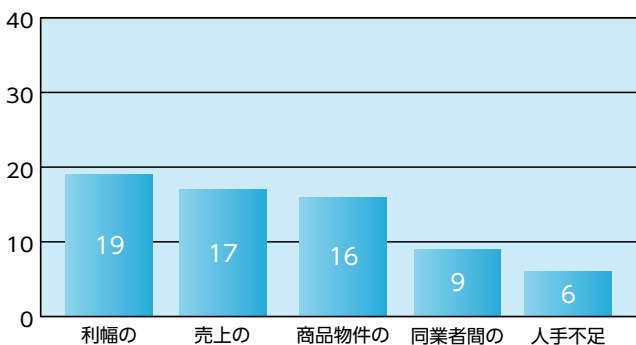
当期実績…28年 7～ 9月期
来期予想…28年10～12月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

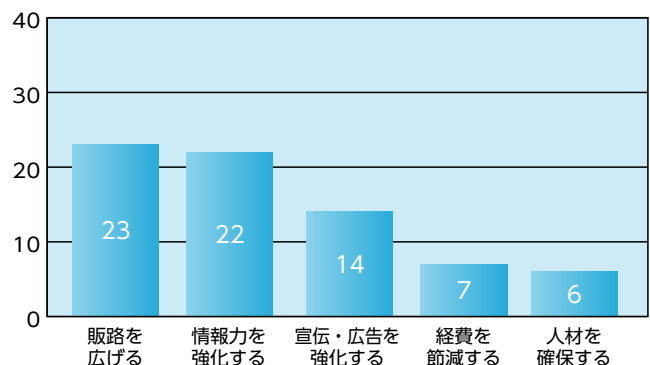
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 347 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 貴社では、現状の金融機関取引が IT 化していくことで、どのような変化が起これと考えていますか。1 つ選んでお答えください。

○決済や入出金の利便性が高まる	111 社	○金利や手数料の引上げが懸念される	6 社
○金利や手数料の引下げが期待される	33 社	○金融取引にかかる安全性が向上する	4 社
○金融取引にかかる安全性が低下する	27 社	○資金調達（借入等）がしやすくなる	3 社
○決済や入出金の煩雑性が増える	10 社	○変わらない	34 社
○資金調達（借入等）が難しくなる	7 社	○わからない	90 社

問 2. 最近、IT 化の進展にともない、IT を活用した金融サービスを提供する金融機関がはじめていますが、金融サービスを提供する「金融と IT の融合（フィンテック）」をご存知でしたか。また、こうした IT を活用した金融サービスを貴社の事業上で利用したいとお考えですか。1 つずつ選んでお答えください。

金融と IT の融合（フィンテック）の認知度		金融 IT サービスの利用意向	
○内容を知っていて、既に利用している	17 社	○利用したい	23 社
○内容を知っているが、利用していない	63 社	○どちらかといえば利用したい	41 社
○言葉だけ聞いたことがある	127 社	○どちらかといえば利用したくない	35 社
○知らない、聞いたことはない	117 社	○利用したくない	40 社
		○わからない	185 社

問 3. 貴社が組織（事業）として IT を活用した金融サービスを利用している（あるいは利用したいと考えている）サービスはございますか。3 つ以内でお答えください。

○スマホ決済・送金	79 社	○不特定多数からのインターネットを通じた資金調達（クラウドファンディング）	12 社
○インターネット技術を活用した経営・業務支援系サービス（事務処理など）	71 社	○インターネット上での自動投資サービス（オンライン投資／ロボアドバイザー）	8 社
○インターネット技術を活用した会計ソフト（クラウド会計サービス）	44 社	○仮想通貨（ビットコインなど）	1 社
○インターネット上での借入れ（オンライン融資）	35 社	○その他	18 社
○リアルタイムで取引状況等をみた借入れ（商流ファイナンス）	14 社	○利用したくない	134 社

問 4. 社長ならびに家族が個人として IT を活用した金融サービスを利用している（あるいは利用したいと考えている）サービスはございますか。3 つ以内でお答えください。

○スマホ決済・送金	115 社	○オンライン投資／ロボアドバイザー	8 社
○家計簿サービス	21 社	○仮想通貨（ビットコインなど）	1 社
○オンライン融資	20 社	○その他	12 社
○クラウドファンディング	10 社	○利用したくない	149 社

問 5. 取引金融機関から貴社に対して、事業上で IT を活用した金融サービスの利用を勧奨されたことがありますか。それぞれ 1 つずつ選んでお答えください。

提案してきた取引金融機関		取引金融機関から提案されたサービス	
○メガバンク	10 社	○スマホ決済・送金	22 社
○地方銀行・第二地方銀行	20 社	○クラウドファンディング	4 社
○信用金庫	23 社	○クラウド会計サービス	4 社
○信用組合・JA 等	2 社	○その他	8 社
○なし	255 社	○なし	248 社

中小企業等経営強化法（H28.7 月施行）のご紹介

中小企業における生産性向上を後押しする同法では、人材育成、コスト管理等のマネジメントの向上、設備投資などの経営力を向上させるための取組内容を記載した事業計画（経営力向上計画）を国に提出し、認定されることにより、以下のメリットを受けられるのが特徴です。

①新たな機械装置の投資に係る固定資産税の軽減措置

対象者：資本金 1 億円以下の中小企業者、個人事業主など
対象設備：160 万円以上の機械および装置（新品）
要件：生産性が年平均 1% 以上向上する設備 など

②その他の金融支援

信用保証協会による信用保証枠の拡大 など

3 年間、1/2 に軽減

※当庫は、経営革新等支援機関として計画策定のサポートをいたします。
（申請の手引きや計画の概要はこちら [経営強化法](#) [検索](#)）

